



出版不況の現代に、異例のヒットが続いています。昨年8月に発売された『漫画 君たちはどう生きるか』へマガジンハウス刊、吉野源三郎原作、羽賀翔一漫画の累計発行部数が200万部を突破。同時発売の新装版小説と合わせると250万部以上というから、もはや大ブームです。

実はこの本、80年前の戦時中に書かれた物語なのです。

舞台は昭和初期。主人公は、お父さんを3年前に亡くした中学2年生、「コペル君」こと本田潤一君。友人関係やいじめなど、多くの悩みに直面するたび、近所に住む叔父さんから生きるヒントをもらい、成長していく物語です。

ある雪の日、友人のガッチンが上級生から制裁を加えられた時、「絶対に逃げずにみんなで戦う」と約束していたのに、恐怖心から一歩も動けなかったコペル君。なぜ、自分は浦川君や水谷君のように前に出ていかなかったのか。

みんなを見捨てたのか。病気になるほど後悔の念にさいなまれるコペル君に、お母さんは自分の若い頃の苦い思い出を語ります。神社の石段を重い荷物を抱えて登るお婆さんに、どうしても声をかけて手伝ってあげられなかった。その時の後悔が、今の自分の背中を押してくれることがある、と。

渡された叔父さんのノートに並ぶ言葉「僕たちの目から一番つら

# コペル君とアメフト選手

住職 樋口祐慈

い涙をしばらく出すものは、自分が取りかえしのつかない過ちを犯してしまったという意識だ」「自分の過ちをつらく感じるということの中に人間の立派さもあるんだ」「なぜそれほど苦しまなければならぬのかーそれはね、君が正しい道に向かおうとしているからなんだ」に、コペル君は自分を取り戻していきます。

昨今マスコミで話題の、大学アメリカンフットボールのQB選手を危険なタックルで負傷させた問題。当該選手の記者会見で、最も印象に残ったのは「顔を出さない謝罪はない、顔を出さないで何が謝罪か」という本人と両親の考えで、20歳になったばかりの極めて未成年に近い青年の、顔も実名も公にして臨んだ姿勢でした。そして彼の、自分のやってしまった行為への真摯で誠実な反省の言葉に、日本中が応援の気持ちを持ったのでした。

善導大師の教えに「二河白道の譬え」があります。親鸞聖人も多くの著書で引用されています。

ここに一人の人がいて、教えを求めて歩み出すと、人影のない果てしない広野に出る。そこに群衆が現れ、この人を襲い殺そうとする。死を恐れて西に走ると、突然二つの河が現れる。火の河と水の河。どちらも深く底がない。その間に細い白い道があるが、激しい波と火炎が交互に道を

覆い続けている。この人は覚悟する。「引き返しても留まっても進んでも私は死ぬ。ならばこの白い道を前に進もう。すでに道があるのだから」と。すると東の岸から「ためらわずにこの道を行け。死ぬことはない」と人の勧める声がある。また、西の岸からも「一心に真っ直ぐに来るがよい。わたしが護ろう」と喚ぶ声がする――。

深い人生を歩もうとすると、遊び仲間が離れていきます。「群衆悪獣」は「煩惱を満足させるもの」「や」「言い訳」。「死」は「菩薩の死」のことで「もういいや」と現実の直視をやめること。結局、人生を前に進めるためには、炎や荒波のような「自分の未熟さ」と正直に向き合うことしかないのだ、と教えて下さっています。

コペル君もアメフト選手も、見たくない、認めたくない自分の内面と真向かいになりました。だからこそ、背中を押す声や応援の声が届いたのです。

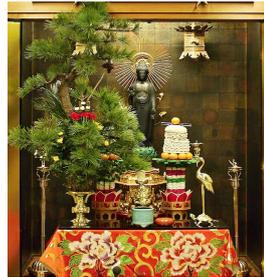
教えを聞く者の原点は「出発点がここにありませう。自分の心を内側から観るのは本当にしんどいことです。群衆悪獣はいつも狙っています。白い道へ一歩踏み出す勇気を、常に試されているのです。」

群衆悪獣が現れ、この人を襲い殺そうとする。死を恐れて西に走ると、突然二つの河が現れる。火の河と水の河。どちらも深く底がない。その間に細い白い道があるが、激しい波と火炎が交互に道を

**報恩講** 12月7・8・9・10日 九座法要 お話は、榎山正樹師・本多雅人師・都築直市師・藤原千佳子師・神本進一氏夫妻・亀井 鑛 師。本堂がなくても、みんなで知恵を絞って出来る限りの報恩講を勤めました。一年の集大成として感動を分かち合える仏事でした。

**行事写真報告**

昨年12月から  
今年6月まで



**春季彼岸会・永代祠堂法要** 3月20日 21日

平成30年 1月1日 **新年修正会**



ご法話は亀井 鑛 師と東野文恵師



# 花まつり・誕生児初参り式 4月15日



東本願寺



原爆ドーム



厳島神社

# 子ども上山研修

3月29日

# 正信会一日研修 5月9日

蓮如上人御影道中の会所を  
ごいどうちゆう えしよ  
仏教讃歌で支えるお寺に学びました。



響忍寺



大津別院



# ご縁結びの会 4月29日



柳野明仁師



クッキー作り

# 春の法話会

25日

# 本堂建設事業経過報告

◆主な会議・事業・工事等◆

6・21	5・17	5・5	4・26	4・21	4・9	4・4	3・23	2・27	2・20	2・6	2・5	2・3	1・24	1・20	1・19	1・16	12・20	12・18	11・16	
第37回建設委員会	第36回建設委員会	稚児行列 現地点検	第35回建設委員会	会計監査	本瓦葺き工事開始	全屋根ルーフィング完了	第34回建設委員会	建設委員会便り⑧発行	第33回建設委員会	棧瓦葺き工事開始	建設上棟式&内覧会	上棟式準備会	上棟式奉納用餅つき	第32回建設委員会	建設委員会便り⑦発行	上棟	合掌トラス設置完了	第31回建設委員会	建設立柱式	第30回建設委員会
建設企画委員会	建設小委員会																			建方(立柱)開始
適宜	造営部会 会議	財務部会 会議	法要部会 会議	広報委員会 会議	他社寺行事 視察会															



柱は全85本。直径450mm檜丸柱6本+ 桧角柱65本+ 桧丸柱14本。  
 ★幅300mm基礎梁に人工石の基礎パッキンを敷き、桧材土台を設置。  
 左は直径450mmの檜丸柱が鉛シートを介して立つ本堂の中心部。



25 t ラフタークレーン登場。立柱の後、小屋組組付け。本堂中央に柱のない広い空間を実現するためトラス構造を採用。三角形が基本単位の構造形式で、屋根荷重すべてを横方向の力に変換する仕組み。





下屋根仕舞い。化粧材は耐水耐朽性の高い無節米ヒバを使用。★ 3つの屋根（大間(だいま)上の大屋根+内陣上の内陣屋根+華部屋・回廊・後堂上の下屋(げや)）を組み合わせたT字型撞木(しゅもく)構造。



内陣屋根の最上部後方から大屋根を見た写真。右は野垂木(のたるき)左は野地板(のじいた)施工まで。ルーフィングの後、瓦葺き行程へ。★ 屋根中央が前方に張り出す部分=向拝(ごはい)には4本の向拝柱設定。



下屋(げや)は棧(さん)瓦葺き、大屋根と内陣屋根は一体型三州瓦を使用した本瓦葺き。土を使わない空(から)葺き工法を採用。またすべての棟(むね)には耐震棟を施工。



すべての壁が耐震補強格子壁。内部に90mm角木製面格子をはめ込み、その両面を12mm厚構造用合板でしっかり固定。

向拝(ごはい)から大屋根を望んだ図



棟札(むなぶだ)とは建物の由緒や記録を記し、屋根裏に取付ける木札のこと。拙寺の棟札は表に起工式と上棟式の日付、建設委員会委員名、設計施工と仏具業者名、住職・副住職名を記載。

裏には拙寺の起源と『親鸞聖人御消息』の「世のなか安穩なれ仏法ひろまれ」を、仏法的価値観が広まらない限り世の中安穩にならないその役割をこの念仏道場が果たしていきますと誓いを込めて上記のように記載。





- 《 建設上棟式 式次第 》
- ①開式の言葉 ②一同合掌
  - ③祝餅奉納 ④読経・焼香
  - ⑤上棟儀式〈曳綱之儀・槌打之儀〉
  - ⑥棟札紹介 ⑦挨拶・祝辞
  - ⑧乾杯 ⑨一同合掌・恩徳讃斉唱
  - ⑩閉式の言葉



# 新本堂用備品ご寄贈のお願い

本龍寺本堂建設委員会 委員長 沓名昭二 住職 樋口祐慈

謹啓 日ごろは拙寺の諸活動に対しまして、特にこの度の本堂建設事業に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、皆さまのお力により新しい本堂がいよいよ平成30年11月に竣工を迎えます。

つきましては、本堂備品のご寄贈を広く有縁の皆さまにお願いいたく存じます。

どうか格別なお力添えを賜りますよう謹んでお願い申し上げます。 ■主な備品■



うちしきいつしき  
**打敷一式** 〈冬用×6枚+夏用×6枚〉



さんけい い す  
**参詣椅子** 〈200脚〉



オリジナル  
折りたたみ  
テーブル付

せつきょうだい  
**説教台**  
〈1台〉



さいせんばこ  
**賽銭箱**  
〈1台〉



くげ  
**供筒**  
〈一式〉



しょうこうだい  
**焼香台**  
〈5台〉



◆寄贈額 … 一口 = 10,000円 (できましたら一口以上でお願いします)

◆お申込み … 専用**申込み書**にご記入の上、**現金を添えて**お寺までお持ち下さい。**申込み書**は関係方面に**配布・郵送**します。また、お寺に**常備**の他、**HP**からも入手できます

◆受付期間 … 平成30(2018)年 **8月1日**~**11月末**まで



**真宗大谷派 本龍寺 本堂建設委員会**

和泉の本龍寺

検索



全行程1,300m  
(往路680m+復路620m)

**文山小学校 体育館**  
受付・衣装渡し・化粧・着付け

本堂落慶法要と御遠忌法要は、2019(平成31)年3月30日(土)と31日(日)に開催されます。**稚児行列**は、二日目の**31日(日)**に実施。本堂建設委員会では、法要部会を中心に入念な現地点検を行い、この度、左図のコースを決定致しました。

今後は、お盆前頃にお稚児さん募集のチラシを配布・郵送・公開し、10月~11月に申込み受付の予定です。

**稚児行列のコース決まるー!**

# 新役員紹介

■第29代同朋婦人会■



神谷恵美子 早川眞知子 稲垣月代  
 早川由利子 早川芳子 兵藤由香里  
 杉浦やつみ 兵藤和子 沓名喜代美  
 都築はつゑ 早川美春

会計 兵藤幸子 会計 沓名鶴子 副会長 沓名立子 会長 沓名育子 会計 石川美野里 会計 都築雅子



廿日会  
 会長 沓名恵子 副会長 沓名玲子 会計 早川嘉子 会計 都築香里

正信会  
 会計 沓名加代子 副会長 沓名美津江 会長 沓名光江 会計 沓名文子

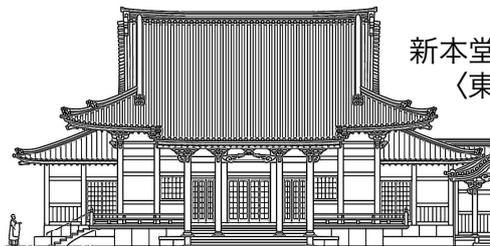
※氏名敬称略 ※任期2018(平成30)年1月1日~2019(平成31)年12月31日  
 ※恵信尼会Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・仏華の会・お灸を楽しむ会の各役員は継続ご就任のため割愛



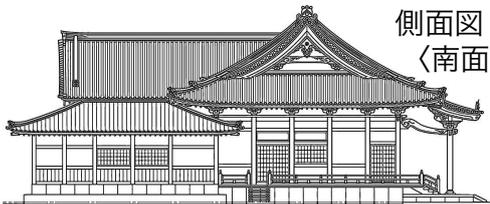
根育ての会  
 代表 大美豊美 代表 兵藤和美

みどりの会  
 副会長 神本絹代 会長 神谷みよ子

新本堂正面図  
(東面)



側面図  
(南面)



**あと** 第67号をお届け致します。いよいよ12月6~9日報恩講と、新しい本堂での仏事がスタート。これより年が明けた3月末の御遠忌法要まで、お待ち受けの法会やイベントを展開して盛り上げます。多くの方々に仏法のご縁が広がることを祈りながら。(頼)

# 本龍俳壇

お寺や仏事にちなんだ歌をお寄せ下さい。同朋会館の玄関奥に投句ボードを常設。ぜひご覧下さい。

平成29年	12月	正信偈唱えつ耐える寒灸 亡き父がそこにいなそうな報恩講 大根も私も光つて報恩講 飯堂に響く声明報恩講	川口慎吾 都築直市 神谷健壬 杉浦陽子
平成30年	1月	クレーンの首動き出す事始め	早川三千代
	2月	春兆す五色の幕は空を衝く 早春の空にくつきり上棟飾り	沓名美津江 梅本初実
	3月	寺普請先祖に告げる彼岸かな 背伸びして甘茶かけたる子の笑顔	早川道久 沓名光江
	4月	よもぎ餅笑顔で作る婦人会 檀徒等の志集め御堂建つ	樋口頼子
	5月	木の香馨し和みの郷は	早川道久
	6月		